

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 103)

団体名	(特非)たんぼぼルーム	代表者名	(職名) 代表理事	(氏名) 宮本 真由美
事業名	地域交流広場～地域ぐるみの子育てを～			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
月2回	宝塚市立共同利用施設安倉会館		{ベビーたんぼぼ}赤ちゃんから未就園の親子の広場
6月28日	宝塚市立共同利用施設安倉会館	33名 (スタッフ4名)	「安倉会館に花を植えよう！」地域の方が集まり地域の拠点である会館に花を植える。シャボン玉や紙芝居 他
7月28日	宝塚市立共同利用施設安倉会館	14名 (スタッフ4名)	「絵本の読み聞かせ会」自分の好きな絵本を見つけよう。読み聞かせを楽しもう。折り紙をしよう。
8月20日	宝塚市立共同利用施設安倉会館	19名 (スタッフ4名)	「絵本の読み聞かせ会」自分の好きな絵本を見つけよう。読み聞かせを楽しもう。折り紙をしよう。
11月28日	宝塚市立共同利用施設安倉会館	12名 (スタッフ4名)	「しみずまゆもさんの歌とお話を楽しもう」ストーリーターの歌とお話を楽しむ。
12月16日	宝塚市立共同利用施設安倉会館	14名 (スタッフ4名)	人形劇団「こむ」さんの人形劇をみんなで見て一緒に遊ぼう。

< 効果と成果 >

月に2回定例開催の「ベビーたんぼぼ」では0歳～幼稚園前の親子が集い、初めはぎこちないながらも段々と打ち解けていく様子が見られた。

近年、親子で関わりあう機会が少ないのでコミュニケーションをとることが苦手な親子も多く、まずは個々の親子にしっかりとかわれるようにスタッフの配置を多くし、対応していくことを心がけた。

子育ての悩みも多く、個々に対応することも大切にしながら親子同士が繋がれるように橋渡しができるようにスタッフでの共通理解も多く取り、心地よい居場所づくりに努めた。

「地域交流広場」では対象を広げ、乳幼児から幼稚園、小学生、シニアの方までが集い楽しめる内容を組み込んでいった。地域の拠点である安倉会館に花を植えたり、本を読んだりできる場所になるように環境を整えることにも力を入れた。

幅広い年齢層が集まって子育てに関わっていけるようなきっかけづくりができたと感じている。参加者からは「楽しかった」「また、来ます」という声が聞かれ、続けて参加してくれる親子がたくさん増えたことは成果であると捉える。

< 今後の展望 >

現代の子育て環境は幼児教育無償化や働く親に対しての様々な支援の広がりによってよくなった面がある一方で、同じ地域の子育て仲間が作りにくい、子ども同士の繋がりができにくい、子育てに孤独感を感じる人が増えている等、課題も多い。誰でもが集える場、行けば誰かとかかわれる場が親にとっても子供にとっても必要である。

しかし、地域のつながりが希薄化している現代ではその場を作ることに、体制を作っていくことにもたくさんの人の協力が必要である。

地域が同じ思いをもって繋がっていかねば実現できないということを強く感じた。そのために各関係機関とは情報交換を密にし関係性を深めていけるように今後も努めていきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	450,000
事業収入 (参加費) 等	132,052
合 計	582,052

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	指導者謝金	81,000	81,000
	人件費	167,000	96,000
	講師料	22,274	22,000
	その他 (消耗品等)	132,599	132,000
	小 計	402,873	331,000
	間接経費 (一般管理費)	179,179	119,000
	合 計	582,052	450,000